

〔11月〕人口の動き

人口	4,295 人
世帯数	962 世帯
出生	3 人
死亡	3 人
転入	7 人
転出	13 人

(11月末住民登録人口より)

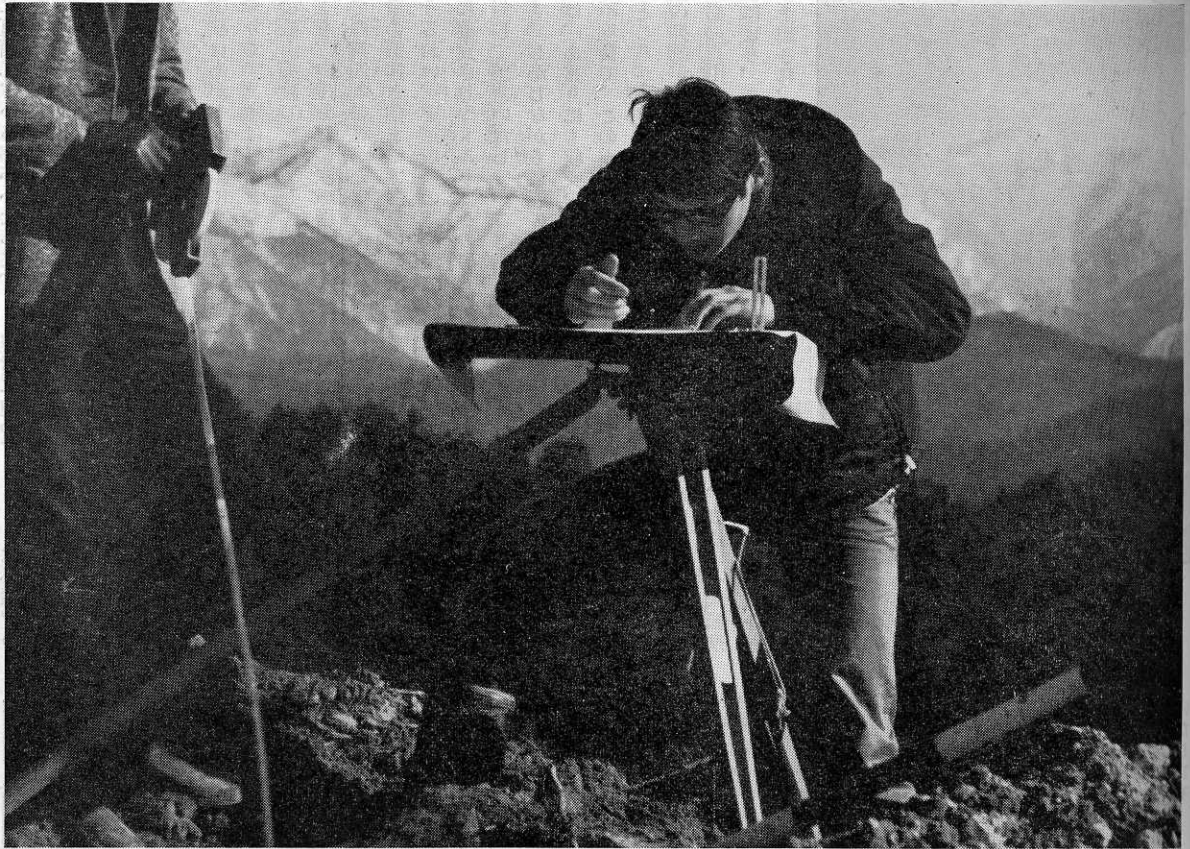


第108号

発行
東白川村 公民館
岐阜県加茂郡東白川村
TEL(東白川)1番

印刷
中部印刷 K K

昭和43年1月15日発行



わたくしの夢

希望に満ちた年、昭和43年の夜明け…
建築と開拓の中で新しい年を迎えた東白川
の、いろいろな人たちからの夢や意見を
特集しました。

——来るべき不況に備え——

収支のバランスを

——村長 河田 勘 市——

新年おめでとうございます。
ここに昭和四十三年の新春を迎え村内の皆さんとともに健康で明るいお正月を祝福できますことを心からお喜び申し上げます。平素は村の振興にご協力をいただきまして感謝しています。新しい年とともにいつそうのご協力をお願いいたします。

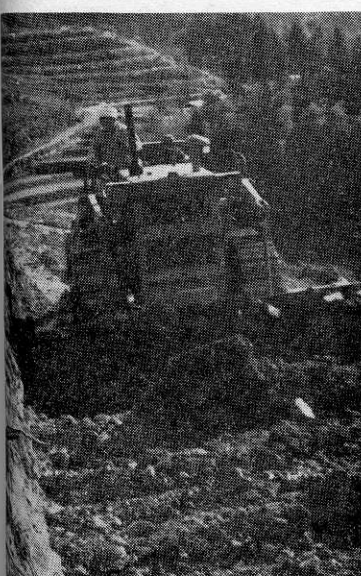
明治、大正、昭和の三聖代、日本は急速に発展をとげ、ちようどことしが明治百年となり、誠に意義深い年であります。大東亜戦争によつて大きな犠牲を負うとともに、冷厳な敗戦を見ましたが、これを転機としてからの発展はめざましく、世界の驚嘆するところ展してきました。この高度成長が

機に直面している感がいたします

この苦しい中にあつて産業経済の円満な振興を図ることは、なかなか容易ではありません。しかし昭和四十二年の成果を見ますとき皆さんの努力の結果、全般的にその実績はあがり、本当に喜ばしいかぎりです。米は村始まつていら

いの政府売渡しを完了し、繭価の値上り、白川茶、畜産の増大によつて農業四本の柱が充実拡大され林業の振興と相まつて農家の経済はうるおい、安定農家の基盤が次第に確立されつゝあり、その努力に対して感謝いたしているところ

です。しかしながら最近の経済事情は、あまりにも収支のバランスが不均衡で、この点憂慮に堪えないところが、できるだけの消費の抑制が望ましいと考えます。貿易の自由化と、国際経済の変ばうにより、ことしの末期から不況が予想され、そのしわ寄せが必ず



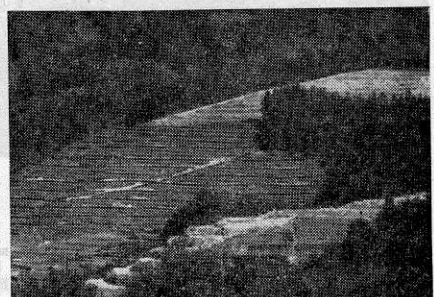
↑ かつよいブルドーザが今日も山地を切り開いています

農村に迫ってくることは必然であります。こうした農村危機に備え

農業構造改善事業の機能をじゆうぶんに發揮し、生産の拡充とともに、消費面の節減に努め、堅実な運営に當つて貯蓄の増強を図ることが、来るべき危機突破への道であると信じ農家の皆さんに大きく期待するところであります。

私たちの村は、交通事情も悪く辺地としての悪条件の中にあつての農林業の振興は、商工業につながる共同体であつて、村民こそつて産業経済の発展にご精進されることを望んで止みません。

自治法が制かれて満二十年、村は先輩の築かれた基盤を継ぎ、皆さんの協力によつて、年々着実に進展してきましたことは、慶祝に堪えません。地方自治もこの二十年の歴史を経て、まさに一大転換期を迎えようとし、広域行政を強く推進してその実をあげなければ



→ つぎつぎと近代的な茶園が生まれています

ならない時と思ひます。すなわち行政事務の増大、財政規模の拡大に加えて社会経済発展の影響を受けて、運営も次第に難かしさを加えてきました。財政の硬直化は、

当然起る問題です。教育産業の振興に、住民福祉の増進に数多くの事業があります。長期財政全般の動態をよく見きわめ、放慢政策を敢にいましめ、健全財政を堅持して自治振興を図る信念を貫き村

政発展に努力することを、さらに思いを新たにするものであります。政治、産業、経済、文化、あらゆる分野において、その進展を期するには、人の和と、協力の力こそ最大条件であると信じます。今後ともいつそうのご協力をお願い

■岐阜県林業青年研修所の研修生を募集しています。
県では次の要領で、林業青年研修生を募集していますから、希望者は森林組合まで申し込んで下さい。

▽主 旨
農山村の青年に対し、林業の専門的知識と、技術を教育するとともに、知性と教養を高めて林業近代化の推進力となる、自営林業家、指導者としての能力を有する林業技術者を養成する
▽場 所
恵那市大井町岡瀬沢
▽定員および修業年限
定員二十五名、修業期間は、毎年四月中旬より翌年三月上旬までの一カ年とする
▽募集要領
中学校卒業程度以上の学力を存する者で、心身とも健全な十五歳から二十歳までの県内に在住する男子とする。
応募申込書に市町村長の推薦書を添え三月十日までに、県へ提出する。
経費は授業料、宿舍費は無料とする。ただし食費等は原則として生徒の実収による収入のほか県の補助金がある。

◆固定資産の申告は
一月三十一日まで

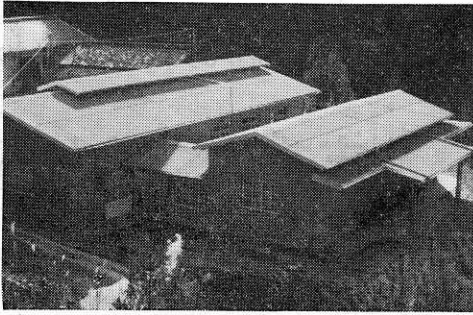
わたくしの描く 教育の夢の青写真

議長 田口稔

おめでとうございます。ことしも豊かで事故のない明るい一年であるよう努力しましょう。

さて、昨年も本号に書いたわたくしの青写真はどうかやらずに進んでいることは、本当にうれいこととです。

わたくしは終戦後ソ連につれて行かれました。シベリアに三年いましたが、昭和二十四年九月に日本へ引きあげてきました。それから一つの持論を持っています。それは、教育の国営と、医療の国営



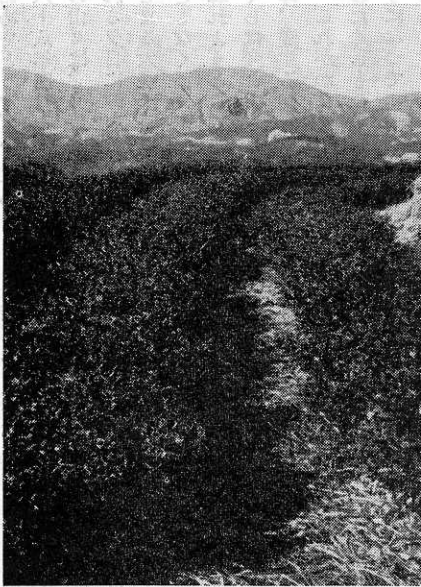
→全自動の最新の製茶工場も完成しました

ということですが、本号ではわたくしの心に描く、教育の夢の青写真を見ていただきましょう。国営教育とは、義務教育から最高学府まで、すべて国費で行なうことです。そこには極めてきびしい国家的条件があるのは当然です。第一にすべての進学には厳しい国家試験によつて行なわれます。これは次代になう国民を育成するため第二には能力本意の教育に切替え、これはその人の持つ能力を最高に生かすということ、そのために教育制度を三つに分けます。第一は基礎教育制度で現在の六・三制をそのままで良いと思います。第二は能力教育制度で、三ヶ年・すなわち現在の高校で、ここまでする義務制とします。この三ヶ年間にそのこどもの持つ能力に応じ、職業教育と専門教育のコースに分け、国家試験によつてそれぞれの専門学校に入れ、四ヶ年の最高学問を受けます。能力に応じた職業教育を受けた高校卒業生はただちに一人前の産業戦士として社会に役立つ人になり、こうすれば、昨年のようなユーレイ学生に

よる羽田事件や、アルバイトデモ騒動など起りえないと同時に無駄な入学試験地獄などがなくなりこどもの持つ能力は存分にのびて立派な学者が、国家のために活躍する時代がくることでしょう。わたくしたちが現在、社会生活で一番重荷になるのは、こどもの教育と病気の時のことです。病気に對しては、一応保険制度がある程度保障してくれませんが、こどもの教育だけはそうはいきません。そこでついには四捨をされてしまい、だから働く戦士が足らなくなるのが当然です。今日、都会でも、いなかでも、働くものが足らなくて一番困っていることは、ご承知のことでしょう。これを解決するには、大いにこどもを生んでもらうことです。そして生まれたこどもは、わたくしが、責任を持つて国

の経費で、それぞれの能力に応じ

5年目をむかえた茶園。ことしから最盛期となるでしょう。



た教育をし、身心ともに立派な学者と、社会に役立つ産業戦士を作つて見せます。ただし、わたくしが文部大臣になつてからのこと、村会議長くらいではどうにもなりません。しかし、こどもを持つ親に考えてもらいたいと思うことは自分のこどもの能力も考えずに、何が何でも上の学校へやりたいという無理な考えかたはやめてほしいと思います。それは、決してこどもの前途に役立つものではないからです。どんなこどもでも、何らかのすぐれた能力を持つては必ずです。それは先生が一番良く知つておられます。その指示にしたがつて進学にしても、職業にしても選ぶべきで、最高学府に進むべき能力のあるこどもに對してはそれこそ村の責任においても人間投資することが必要であると思ひます。

けいじばん

償却資産の所有者は、一月一日現在におけるその償却資産について、必要な事項を一月三十一日までに村長に申告しなければなりません。

申告が簡素化されて、ことしは新たに事業を開始した人などを除き、昭和四十二年に増加したまたは減少した資産についてのみ申告すればよいことになっております。

すでに役場から用紙を発送しましたので、この用紙の送達を受けた人は、必ず期限までに申告するようにして下さい。

餅と付け合わせ

お餅をどつきり食べた後、胸やけがしたり、何となく胃が重苦かったり、おなかの空気が悪かったりしますが、これはどうしてでしょうか。

もち—もち米と同じで、ほとんど全部でんぷんから成り、たんぱく質、脂肪、ビタミンは僅かしか含まれていません。

付け合わせ ですから、付け合わせは、たんぱく質(卵乳、肉、魚)、脂肪(油) ビタミン(野菜、果物)を補う役目を持っています。即ち、付け合わせは胃の中にたまつた。餅を十分消化、吸収する助けをします。

村の将来は
 まず人づくりから
 教育長 安江又右エ門

百年の大計はまず人づくりから
 「新年おめでとう」ということばは年々歳々とり交わされているあいさつですが、理くつをいえば新年だからめでたいということではなく、その年をばよりめでたい年にしたいという祈りや願いがこめられています。

人間は、つねに現実には満足せずその来る年々に新しい期待をかけるはげんできたところに今日の人間社会の進歩があつたわけで、年のはじめにあたり、お互いがよりよい目あてにむかつて努力しようという誓いが、このことばの中かに秘められていると思います。

さて、現代はいまや二十世紀の後半を過ぎ二十世紀への胎動期をむかえようとしています。このことばは明治百年、わが国が

超え、新しい時代への飛躍の年として意義深いものがあります。後世百年への出発の年としてお互いが心してはげみたいと思います。むかしから「一家五十年の計をはからは樹を植えよ、国家百年の大計を希求せばまず人を養え」ということばがありますが、わたしたちは、この時代の転換期にたつて郷土百年の大計のもと、将来の東白川村をゆだねる有為な青少年を創り出すためいつそう努力しなければなりません。まして、子は国の宝とか……一家にとつても地域社会にとつても何物にも換えがたい貴重な財産ですうんと元手をかけて利殖をふやすことは現代の教育にも通ずることで、激変する社会においては少いぐらゐの固定資産や事業基盤はこの先どう転ぶかわからない不安があります。人間に元手をかけることは、その時代にそなえる一番安全な投資であり、財産づくりであると考えます。わたくしたちは現代のめまぐるしい経済変動の中にあつて、目先の利慾にとらわれ、現実には追われ未来を拓くべき教育の問題が二の次になつているとしたら、東白川の将来にとつて大きな損失と云わねばなりません。

いまの現状にあまじることなく遠い将来に目あてをもつて次代を育成する青少年の教育に一層の協力を願ひます。

新年おめでとうございます。
 千九百八十八年四月……

西方の山々は、夕焼けの雲間からこぼれる夕日に輝き、ヒバリは夕暗みせまる大空に時の声を残しどこえともなく消えさり地上は今まさに暮れようとしている。わたくしは今とてもしあわである。父母、愛する妻と五人のことどもたち、これがわたくしの家庭である。わたくしもこの青空会社で働くようになつて二十余年……今では社長である。父母も病気がしきものもせず、今会長の職にある。

病氣といえはこのも村「健康な村づくり」運動をはじめて幾星霜……その成果もついに実り村民だれもが笑いの絶えない毎日を過ごしている。毎月一回、健康診断サービスが村内各地区を巡回し皆の健康管理に当つている。少しでも健康に疑いのあるものは、東白川病院裏を切り開いて建設された「東白川村健康サービスセンター」の人間ドックに移され精密に検査されたのち、科学的な治療を受ける仕組になつている。

明るく住みよい村
 千九百八十八年の四月

と結ばれ、大阪、東京へと買物の足をのばすことができるようになった。山河清き空澄みわたる恵まれた自然風土の、有効の利用を願つて、観光資源開発協会が設立され、その手によつて白川にそつた山々を切り開き観光資源の開発と合せて東白川ニュータウンが五年前に完成し、都市に職を持つサラリーマンのオアシスとして、この緑の別天地を提供している。観光客も年々、おすなおすな盛況ぶりをみて、ことしも早くからキャンプ場の予約は満員とか……この村をさへる第一産業の

発展は、実にすばらしいものである。茶は全国津々浦々にその名声をとろかせ、養蚕はついに十萬キログラムのまゆ生産という輝かしい記録をうち立て、畜産物は三年前に建設された「東白川畜産物加工センター」で加工、製品化されその他の生産物とともに東海近畿、関東、北陸の各方面の市場や特約店へと直送されている。村内では月一回の食肉デーが設けられ、各家庭に新鮮な肉が安値で配達され、食卓をにぎわせてい

十年前に役場、農協その他の建物を取りこわしクリーム色のモダンな建物が建設された。その名も「東白川総合センター」。役場、農協、その他いっさいの事務、連絡機関は三階建ての建物の中に収められ機械化されて、スピーディーな事務連絡をモットーに、地域住民の福祉、教育文化、産業振興にその威力を発揮している。二十年前、ペンペン草が生息し、車がひしめきあつていた広場も、芝が植えこまれ、七色の噴水、ベンチが設けられ職員のオアシスとして深く愛されている。

今日は千九百八十七年に村民が一堂に会し明るく住みよい郷土建設を誓ひあつてから二十年、輝かしい発展をとげた今日の東白川を記念しドーナツ型の宇宙ステーションを形どつた記念碑の途幕式が、総合センター前の広場で行なはれた。わたくしの経営する青空会社も機械化と経営の合理化によつて週一回の休みを設け、個々のプライバシーを守り思いの時の過ごすようになつた。豊かな文化生活が営めるようになったのも、一人一人が現実の生活を常に見つめ豊かな村を造るんだという理想のもとに努力し、から得たものとわ

青年団長 安江 保

「明るい家庭村づくり」を..... 目標達成により努力

.....農協組合長 田口義吉.....

明けましておめでとうございませう。東白川農協も組合員の皆さんの格別のご協力によつて、昨年は各部門とも順調な進展を見て、県連合会の要請目標を達成することができました。このご協力に対し心から感謝をいたします。村が大きく力を入れている農業構造改善事業は、農家の意欲とともに着々と前進し、農業生産がますます増

昭和四十三年の新しい年を迎え村の皆さんとともに喜びに堪えませぬ。
昭和三十八年に老人福祉法が制定せられ、私たちがいち早く老人クラブを結成して早くも六年目の春を迎えました。創立してから村当周をはじめ、皆さんのあたゝかい後援をいたゞき、「ほうらい館」も完成し、内容も多くの備品が整い充実しましたので私たちは喜びと誇りをもつて感謝しています。毎月十五日は公休日として、日ごろの労を休めています。有線でお知らせしているとおり温泉をたいてお待ちしています。そして何らかの催しも行なっていますので

大されています。農協も、指導課をはじめ、金融経済課が一体となつてこの事業の達成に努力を続けています。昭和四十二年の農業収入を見ますと農家の皆さんがまづ土づくりからはじめて、施肥設計の完全実施などにより、農作物の肥培管理、病虫害の共同防除の徹底などから、米、茶、養蚕を始めその他の農産物が大きく増大す

村内皆さんも遠慮なくおいで下さい。私もことし、やつと七十五歳になりました。人生わずか五十年と申しますがいまは人生百年となり、私もこれからはまゝでの体験を生かし、大いに勉強して余生二十五年を有意義に働きたいと思ひます。日本一の高齢者、中村重兵衛さんに少しふれてみたいと思ひます。翁はことし百十六歳ですが若いころは不幸続きでしたが、良くかん難に堪えぬき、今はまだまだ健康でメガネなしで活字を眺み耳も達者です。七十五歳から植林を始めて、現在その植林を伐栽して製板を経営されておられます。人間の、長命、短命、幸、不幸は

るとともに品質の改善に努力されたことから、この収入は一億五千余万円になりました。また、畜産部門も農業に合せて規模が増大し飼育改善の指導を行なつてきましたが、優秀な肉牛の生産等によつて二千余万円があげられています。この成果は、資材として肥料、飼料、生活資材の利用が七千余万円もあることから、昨年の農業収入はめざましい前進であるといえます。農協を利用して下さる組合員のご協力により、「備えあれば憂いなし」の心がまえによる貯金が県連合会要請目標の二倍の六千八百万円、生命財産の経済上の保障と、長期貯蓄の農協共済も一億

.....お年寄りの皆さん..... 「ほうらい館」へ どうぞ長寿会 村雲順.....

に感謝の心を持ち、ことしも大いに働きましょう。

自分の心の持ちようかと思ひます。平素、心豊かに明るく、清く、常



← 昨年市場最高値がつけられた村の牛肉

二十万円のいづれも達成でき、東白川農協の使命を果すことができました。

昭和四十三年は、一月中旬から村の農業振興に合せて、二十二の農事改良組合と営農計画の樹立座談会を開催し、農業振興による経営の検討を行ない、もつとも健全な営農計画の樹立と実行により、農業収入の増大を推進する考えであります。農協も健全で堅実な経営をするため、貯金は三億五千万円、農協共済七億円、農林業生産物販売二億五千万円、生産資材一億円を計画、これの達成により「のびゆく村づくり」の一翼を果すべく、私たちは強い信念の努力と農協精神の基、農協の前進をお誓いします。

お年寄りの皆さん、こんなに楽しく明るい老人クラブの歌があります。「ほうらい館」でいっしょに歌つてみませんか。

——老人クラブの歌——

一、同じ仲間だ、輪をつくれ

老人クラブは、みんなの広場
長い人生、戦いあつて
顔がほゝえむ、日焼けの顔が
みんな元気で、さあ生きぬこう

二、同じ仲間だ、輪をつくれ
老人クラブは、みんなの広場

三、同じ仲間だ、輪をつくれ

老人クラブは、みんなの広場
若いものとも、親しみあつて
心豊かに、希望をのせて
今日もあしたもさあ生きぬこう



==これからの婦人は== 積極的な勉強を

==婦人会長 田口きみ江==

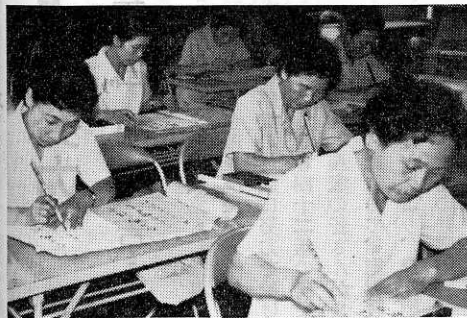
明けましておめでとうございます
日ごろわたくしたち婦人会に對
しては、深い理解と、ご協力を
いたゞいて頂いている皆さんに對して、
心からお礼申し上げます。昨年は
八月十日に平野知事さんを迎えて

の「加茂郡連合婦人のつどい」、
九月十日には「第一回農協婦人部
大会」、十一月二十三日には「明
治百年等記念大会」に併せた諸行
事の参加など、意義ある行事や、
大会への参加がありました。わか
くしたち婦人も、こうしたいろ
んな行事に對して、積極的に参加
し、その中から自分たちのため
になるなにかを吸収したいと思いま
す。そうした意味からも、昨年は
行事が多くありましたが、参加さ
れた皆さん方は、きつとなにか得
られたことと思ひます。最近はお

もたちに對しても満足な答えが出
きないような場合もよくあります
大人は、父や母は、勉強しなくて
もいゝというのではないのです。

「明治百年等記念大会」の展示会
へも、婦人会や婦人学級生の皆さ
んから、本当に多くの出品をいた
ゞき、それぞれ皆さんが家庭の中
でも勉強を続けて見ることが、
その成果となつて現われたことは
本当に喜ばしいことです。ことし
も、できるだけ行事には参加し、
勉強して行きたいと思ひます。

婦人会活動も、最近は何かとむ
ずかしくなつた、曲りかどにきた
とかいわれますが、その一つ一つ
を解決して「入つていてよかつた
婦人会」に育て、行きたいと思ひ
ます。



→婦人学級生普通道クラブでの習

==はてしなく続く==

わたくしの描いた中学校

東中二年 安江ふみ子

新年あけましておめでとうござ
います。

千九百六十八年を迎え、現実と
離れすぎているといわれるかもし
れませんが、わたくしの描いた東
白川中学校というものを書いてみ
たいと思ひます。

今、大都市では土地難といわれ
ています。この村も、そんなふう
にならない前にじゆうぶんな土地
を確保してほしいと思ひます。わ
たくしの描いた東白川中学校の中
で、みんなはこんな生活をしてい
ました。朝は三台のスクールバス
に乗つて通学、着いた学校は鉄筋
の三階建て。そしてその横には、
体育館、運動場は築に百メートル
の直線コースがとられます。東側
にはハコリスで長さ二十五メー
ルのプールがありました。生徒たち
は朝からクラブ活動で汗を流して
いました。運動場では陸上部、体
育館の中へ入ると、こゝではバス
ケットとバレーの猛練習中、バレー
コートなら三面、バスケット
コートなら二面は築にとれる広さ
をじゆうぶんに生かした練習です

て行くと、こんどは卓球と剣道の
練習をしていました。卓球台も
剣道の用具もすばらしいものばか
りです。体育館から出て廊下づた
いに校舎へ行きました。一階は特
別教室ばかりです。西から順にす
ゝむと、はじめは音楽室です。楽
器戸だには、中学校で必要なの
のはほとんど並べてあります。次
は技術関係の教室が四つありまし
た。一番めは女子の調理室、台所
の三要素といわれるものが、最新
的な設備とともにそろえてあり、
燃料も調理の種類により変えられ
るようにしてありました。次は家
庭科室。マシンが三人に一台の割
であり、今までの優秀作品が戸だ
なに並べてありました。この次は
男子の技術科室にしてあり、木工
金工とふつよりやゝ広めの教室
でいろんな機械が並んでいました
美術室にはデッサンがしやすいた
うに、さすが半円形に並べてあり
壁は作品でいっぱいです。図書室
は三千冊以上はあると思われる本
が、本だなをぎつしりうめていま
した。一階の中央は応接室、校長

二階に行く、一年から三年まで
の普通教室です。各教室は放送教
育ができるよう全部テレビが備え
てありました。二年と三年の教室
の間にとてもかわつた教室があり
ました。英語教室と書かれたその
部屋は、個人指導ができるように
一人一人ボックス型の所で、イヤ
ホンから流るゝことばによつて、
勉強するしくみでした。いちば
ん東側は校舎でたゞ一つの和室で
す。ここでは女子のお花と、お茶
ができるようになっていました。

三階は、ほぼ半分が大ホールにな
つています。横は資料室と生徒会
室、とても活発な生徒会活動のよ
うでした。あとは文化クラブの部
屋です。演劇部。パチパチと音が
するのは殊算部です。屋上には園
芸部が苦心した花だんがございま
した。放送設備はすぐくりつばで、
冬は全館スチーム暖房でした。給
食設備も整い、わたくしの描いた
中学校は、わたくしたちの理想の
学校へといつまでも続きました。



給食室の炊き出し

新年に
ぼくは
こんな夢を
越小6年 安江茂和

ぼくたちの学校は、昨年十一月
月岐阜県一の健康優良校となり、
ぼくが児童代表として校長先生と
いつしよに東京へ行くことができ
ました。
全国から集まった児童代表の約
百名と四日間おきをもたにして
きました。どの学校の児童も体格
はよく元氣もあつて、発表なども
りつぱでした。代表者の話による
と、どの学校も児童数が多く、理
科、保健などのあらゆる方面に設
備がととのつていて、町の学校と
いなかの学校の設備が、かくだん
の差のあることがわかりました。
町の学校や、大きな学校をうらや
ましく思いました。けれど、ぼく
は今ほ越原小学校や、東白川中
学校で、どの学校の子にも負けない
よう健康な体で、しっかりと勉強し
がんだりしたいと思ひます。
体も、心も、頭も健康優良校に

ことしの希望
よい思いで
をつくる
五小6年 今井美香子

はずかしくない良い子になりたい
と思ひます。昭和四十三年の新年
に、ぼくはいつそその決心を大
きく持ちました。
そして、ぼくは将来思ふことは
村にある三つの小学校を一つにし
たいと思ふ。ぼくたち六年生の児
童数にしても、越原三十一名、神
土四十七名、五加十四名です。こ
の小さな学校を一校にして、
児童はスクールバスを利用して通
学し、いろいろな設備のととのつ
た学校にすれば、児童数も多く、
したがつて学級数も多く、おたが
いに競争心ができて、今までより
いつそう楽しく、仲よく、勉強も
できて成績もあがり、中学へ、ま
たは高校へと進学や、しゅうしよ
くするのによいと思ひます。こん
なことは急にはできないかも知れ
ないが、ぼくはこんなゆめを持ち
ます。

新年おめでとうございます。
二学期も終わり、三学期をむかえ
ました。昨年の思い出は数多くあ
りますが、六年生としてはなんと
いつても修学旅行がいちばん印象
に残つています。わたくしたち
五加全校の思い出として、歌、器
楽を発表した学習発表会、工場な
どを見学して勉強の参考にするた
めに行なつた社会見学、風景や動
物、働く人を書いた写生会、山へ
登つた春の遠足、すみきつた白川
で泳いだ水泳、おどつたり、走つ
たりした運動会、歌、器楽をみん
なの前で発表した校内音楽会。村
とも関係する行事で全校生が作
品を出した明治百年祭の展らん会
などがあります。
一方児童会の活動では、児童議
会。こまつている事、お知らせな
どをみんなに伝える十分集会。ほ
めてあげたい事、こまつている事
があつたら、「よいこのポスト」
を利用して、それを放送で発表し
たりしています。これからも十分
集会、よいこのポストの利用など
続けていつてほしいと思ひます。
ことしの希望も、やはりよい思
い出をつくるように、勉強、仕事
に力をいれ、よい遊びを考える事
だと思ひます。わたくし自身もこ
としは小学校最後の年でもありま
すから、児童会、勉強ともにが
んばりたいと思ひます。

ことしこそ
おかあさんの
てつだいを
神小6年 安江幸子

わたくしは、ことし小学校最後
の年でもあるし、中学校に入学す
る年でもあるので、毎朝学校へ登
校する前家のそうじをして、おか
あさんの手助けをしたいと思ひま
す。そうじをするといつても、た
くさんへやがあるし、広くて一人
ではえらいので、おかあさんと半
分ずつにして、わたくしが半分や
つてやりたいと思ひます。さく年
は朝そうじをするなんて、考えな
かつたのでことしはいつしようけ
んめいてつだつて、おかあさんや
おばあさんを、喜ばせてやりたい
それから日曜日の日には、おかあ
さんがわたしをたよりにしておい
でるし、休みだからせんたくや、
食事のしたくをしてやりたいと思
ひます。そして、表をつくつてお
いて、そうじをやつたり、いろい
ろのおてつだいをやつた日には、

おかあさんにをうつてもらつて
一カ月たつたらその反省を自分で
やりたいと思ひます。そして、少
しずつおてつだいをふやして、お
かあさんがるすの時でも、自分で
食事のしたくをしてたべれるよう
になると、おかあさんは少しぐら
いおそくなる日でも、自分でやつ
ておけばいいから。おかあさんの
おいでる時に料理をならつておい
て、みんなにつくつてやりたいと
思ひます。さく年は、カレライ
スをつくつたら、おかあさんが
「おいしいで、これからは幸子に
つくつてもらわにや」。といふな
さつたので、その時はとつてもう
れしかつたし、おかあさんもうれ
しそつたので、その日わたく
しは、もつとてつだつてやりたい
と思つた。わたくしがてつだつて
やるとおかあさんも喜ばれるだろ
うし、料理をつくつたり、そうじ
をしたりすることは、家庭科の勉
強にもなるのでしつかりたいと
思ひます。



特集

グラフでみる農業

No. 8

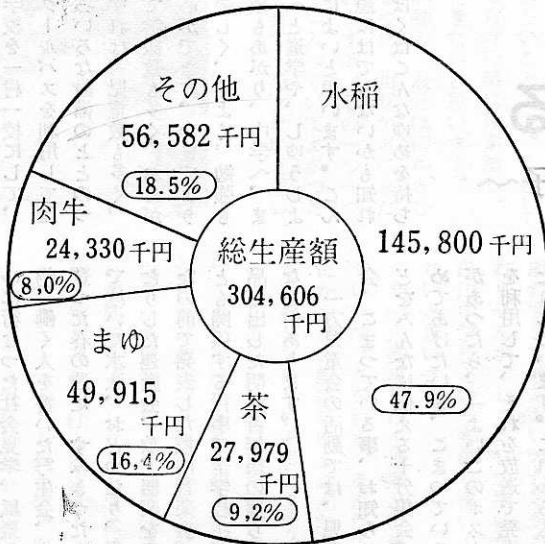
昭和42年の農業生産

～ 将来へ夢をさぐる ～

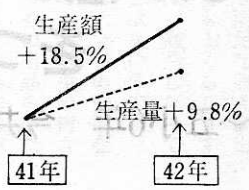
干ばつに続く水害と相俟らず天災に悩まされた昭和四十二年でしたが、全般的には比較的良好な結果で、農業生産は各部門ともに順調な伸びを示しました。特に水稲は大豊作となり、政府売渡米が昭和三十七年の豊作の年の五千二百余俵を大巾に上まわる六千三百三十八俵という大記録をうちたてました。水稲とともに本村の農業四本柱である茶、まゆ、肉牛も堅実な生産の増加と、価格の上昇があらわつてそれぞれ史上最高の生産、販売を記録しました。この結果第一第二表の如く総生産約三億円余、総販売額一億八千万円余となりました。

生産額を農家一戸平均にするとおよそ五十四万円、販売額は三十三万円となります。過ぎ去つた昭和四十二年は農家にとつては、どうやら明るい年になつたといつては、

① 昭和42年農業総生産額



水稲生産の伸び



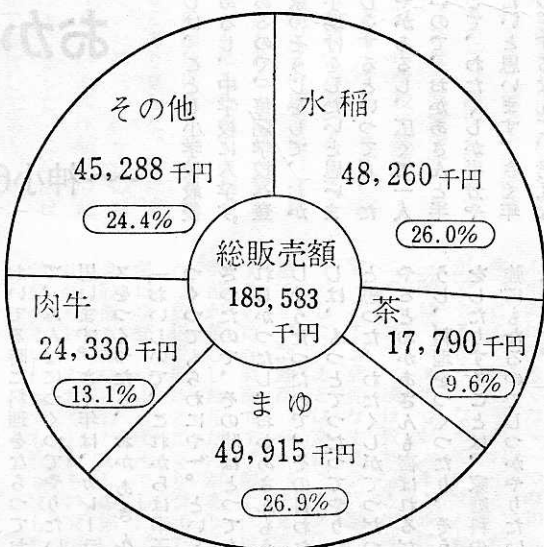
作年にくらべて 生産量の伸びは 約9.8%、生産額はそれを倍近く上まわる。18.5%となり、米価の引き上げと生産増加が半分づつの比重を占めています。

まゆ生産の伸び

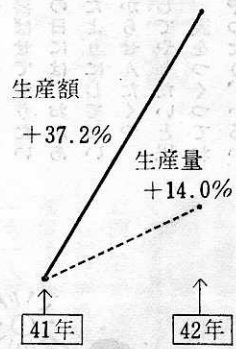


生産量の増加より価格の上昇のほうが大きかつた作目で、まゆはほとんど換金されるため農家のふところを一番あたためてくれたことでしょう。

② 昭和42年農業総販売額



茶生産の伸び



4 作目のなかで生産額の伸びが最も大きい作目で、生産量も増えています。

肉牛生産の伸び



新聞紙上などで牛肉の値上がりが話題になりましたが、いはずです。牛肉のもと痛く売れたから。

将来村は

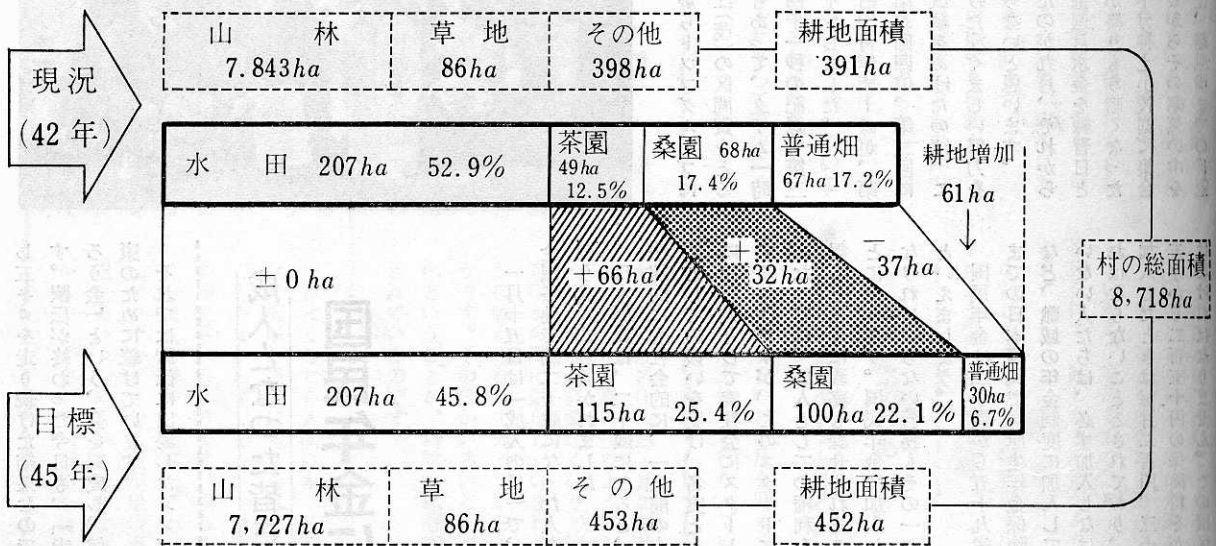
「こんなに変わります」

新しい年を迎えて将来へ思いをはせるのは誰しも同じです。私たちの村の農業の未来を夢見ることにしましょう。

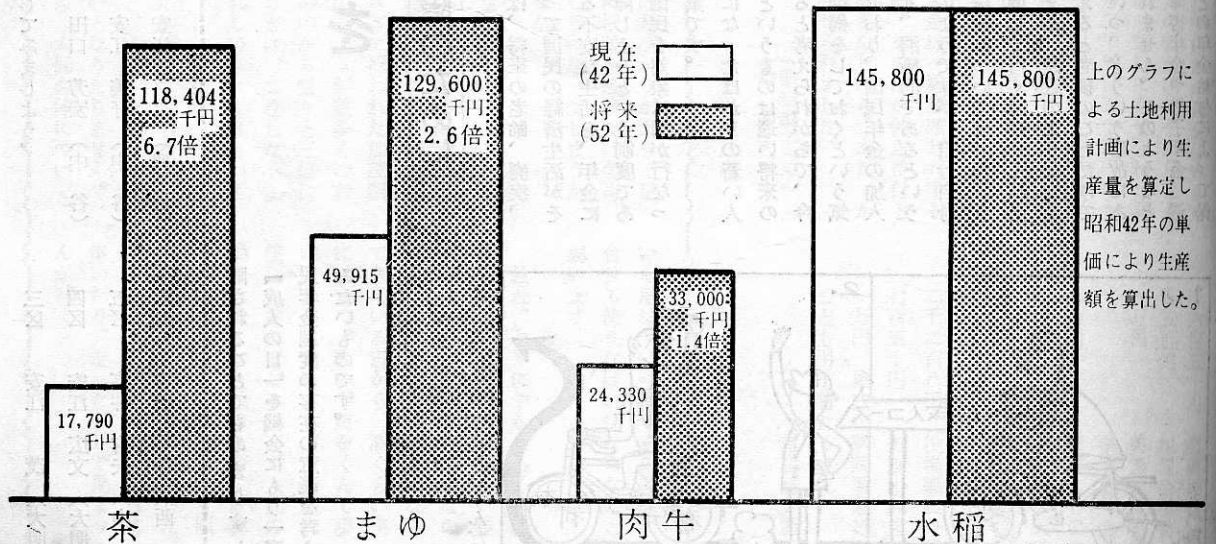
昭和四十一年から四十五年までに実施される農業構造改善計画によれば私たちの村の耕地は第三図の如く集団茶園や集団桑園の開こんなどにより全体で六十一ヘクタール増加し、普通畑が減少して耕地のほとんどを水田と茶、桑園で占めることとなります。これは単なる夢物語りでなく、現在すぐめられている。集団農地造成の外に小規模開こんや、普通畑転換による茶、桑の植栽事業の進行状況から見て近い将来必ず実現するでしょう。

そしてこの土地を基盤として農業生産がなされる時、東白川村の総生産額はいちやく昭和四十二年の倍近く伸びることでしょう。第四図は農業四本の柱について現在と将来を比較したのですが茶とまゆは経営規模の拡大（茶園桑園の増加）と技術向上による生産量の増加で大巾に伸びます。肉牛は多頭飼育により一戸当りの生産金額が大きく伸びるでしょう。この初夢が現実となる日のために、農家の皆さんはりきつてことしの営農計画をたてましょう。

③ 現在と目標時の土地利用の構想



④ 将来における農業生産の見込（農業4本の柱）



第3回中日加茂駅伝 実った夜間の練習

輝く三位入賞



さる十二月十七日、晴天に恵まれた第三回中日加茂駅伝で、東白川青年チームが第三位入賞という輝かしい成績をあげました。この中日加茂駅伝は、美濃加茂市、加茂郡両体育協会および、中日新聞社の共催で両郡市内の親睦と、職域、地域のスポーツ振興を目的として、白川町役場前から美濃太田駅前中日新聞支局まで、国道四十一号線二十八・九キロの区間を、六人の選手によって走破するものです。こんどの第三回大会には、一般十五チーム、高校四チーム、中学校二十チームが参加、午前十

安江(美)君からトツプグループに入り三区安江(茂)の区間賞をとる大活躍などもあって、タイム一時四十六分四十一秒の記録で第三位にゴールインしました。こうして東白川青年チームが、第一回六位、第二回四位、第三回は三位と好成績をあげたのは、この一日にかけた涙ぐましい努力を忘れてはならないと思います。練習に入ったのが九月、それから四ヶ月間、毎週月水金を練習日ときめ、仕事が終わるもう暗くなった午後五時三十分神戸小学校庭に集合します。そこからその集気の中を

し五キロを走り続けた結果なのです。駅伝が終わった今日も、「走ろう会」という、会を編成し、健康のために続けています。それでは駅伝に出場したメンバー

成人となつた皆さん

国民年金に加入を

将来の保障のために

一月十五日は「成人の日」で、全国各地で満二十歳になった人を祝う成人式が開かれました。日本国民は、二十歳になると、法律的にも社会的に、一人前の人間としての扱いを受け、名実ともに社会人として実社会にスタートするわけですが、このスタートにあたっては、成人としての権利を得るとともに義務も課せられることとなります。国民年金に加入しなければならぬ義務もその一つといえます。

国民年金は二十歳から五十九歳までの日本国民で、厚生年金保険など、職域の年金制度に加入していない人たちは、必ず加入しなければならぬこととされており、加入したときは毎月二百円、三十五才から二百五十円の保険料をか

一を紹介してみましよう。

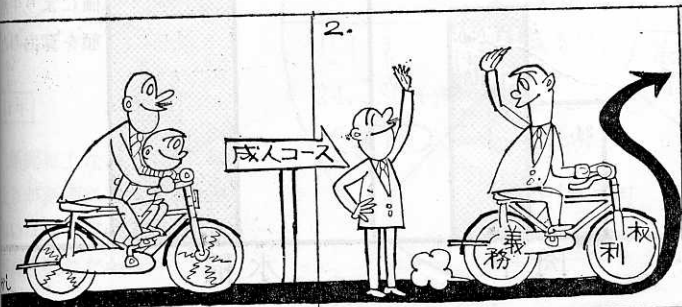
- 監督 田口 芳宏 (中谷)
- 一区 安江 美好 (中谷)
- 二区 安江 啓次 (神付)

- 三区 安江 茂 (大明神)
- 四区 安江 広文 (大明神)
- 五区 高井 吉夫 (中通)
- 六区 安倍 徹 (西洞)

障されることでもあまりすから「成人の日」を機会にもう一度国民年金制度の存在の意義を考えてみたいものです。

きょうから成人

ここから一人ていくんだよ



◇けいさつだより◇

ことしこそなくそう

—こどもの交通事故—

こどもの交通事故防止については、国をあげてその対策にやっきになっていきます。にもかかわらず相変わらず増加の一途をたどっています。

こどもの交通事故ほど悲惨なことはありません。幼い命が一瞬のうちには奪われたり、傷つけられたりするのには、本人はもとより、家族の悲しみ、苦しみはことばでは言い尽ません。

こどもを交通事故から守るために、家庭ではどんなことに注意すればよいでしょうか。次の項目はとくに留意したい点です。

一、こどもの交通事故は土曜日の午後と月曜日におこりやすい。これは、土曜日は一週間の緊張から解放されて、注意力が散漫になっていることと、道草をくいながらぶらぶら帰ったり普段の決まった通学路を通らないことが原因のようです。また月曜日に多発するのは、日曜日に遠出などをし疲れているなどが原因です。

二、登校、下校の際に、家や学校に、忘れ物を取りにあわてて帰る途中の事故も目立って多いようです。これは、忘れ物に心が集中するため、自動車などに対する注

意力がおろそかになるためです。

三、学習じゆくへの行き帰りの事故も多いようです。学習じゆくは多くは、夕食の前に行なわれているためか、空腹だったり、早く帰ろうといそぐ結果、事故にあいやすいと考えられます。

四、自転車の相乗り事故もたいへん多いようです。こどもの体力では、自分一人でさえも十分な安全運転が期しがたいのにもう一人の重み加わるので、乗っていてハンドルをよるめかせたり、時には、ふざけあったりして事故にあっています。



最近の
自家用車
やその他
の交通機
関の異常

なほどの発達によって、わたしたちはそういったものの利用により、玄関から玄関までというところで、歩く機会が目だって少なくなりました。その証拠に靴の裏を見てもみましよう

動物には退化という現象があつて、体の部分を使わなければ自然に小さくなり、その機能を失い、最後にはなくなってしまうといわれています。たとえば

以上の四点は、家庭で十分注意

のできることで、その対策をよく考え、こどもを含めて毎日でもよいから、事故をおこさぬよう家族全体で、話し合う必要があります。

ことしこそ、一人の犠牲者も出さぬよう誓いましょう。

〃歳未たすけあい〃
みなさんありがとう

みんなが明るくお正月を迎えるようにと村が主催して行なつてい

鯨は昔は陸に住み四つ足の動物だったのが、海に住むようになってから足が必要なくなり、何万年かの間に退化し、いまわずかに軟骨となって残っているそうです。そのほかいろいろの退化ということが、科学的に証明されているのです。

わたくしたち人間にも、そんなに極端な退化は考えられなくても少なからず、そういった現象が見られるようです。少し歩くと疲れる。長い間立っていられない。などすでに足が足の機能を失いつつあるかも知れないからです。やがて何万年か後に

た、歳未たすけあい運動は皆さんの、ご協力のおかげで十二月二十六日までに、窓口に寄せられた募金額は八万二千五百五十六円にもなりました。このあたゝかいご厚志を、民生委員の皆さんが相談のうえ配分し、正月に間にあうように届けました。部落別に寄せられた一般の募金は、総額四万九千七百四十八円、そのほか特志寄付として次の皆さん方から、あたゝかい金品が寄せられました。

- 千六百五十円 農業委員一同
- 千五百円 村議会議員一同
- 一万円 美濃加茂市福祉事業協力会
- 五百円 沢木さしの(平)
- 五百円 沢木 佳美(平)
- 千円 安江万代子(加舎尾)
- 千円 小池 正三(平)
- 二千二百八円 役場職員一同
- 七百五十円 五加小児童会
- 一万円 東白川病院看護婦一同
- こども用下着たくさん 尾張屋呉服店

七百元 (藤崎泰子(平) 森 圭子(平))
三千元 民生委員三名

は、人間は頭ばかりが大きく足はわずかに根拠を残すだけの奇妙なかつこうになってしまいかも知れませんが。

いる足は、いつでもその用途に合わせて使えなければならぬと思えます。

最近、とくにやかましくいわれている飲酒運転の問題も、歩きさえすれば起らない問題なのです。人間関係が味気なくなってきた折から、酒ぐらい楽にのんで、歌い、肩をくんで歩いたらどうでしょう。ともあれ便利になればなるほど、人間の動きは少くなり頭はち密に計算された理屈の器となっていく傾向があります。さきにも書いた駅伝のように、一つ理屈ぬきに歩いたり、走ったりして見せませんか。

駅伝は足の鍛練はもちろん心身の鍛練と、チーム全員が鍛練をつまないとならたちません。このように、人間の体について

輝く(健康優良)学校

おめでとつう県一位

越原小学校

「健康で明るい村づくり」を押しすすめている東白川村に、またうれしいニュースが一つ……：全日本健康優良学校を選ぶ審査

が朝日新聞社と各都道府県教育委員会の主催で行なわれていましたが、わたくしたちの村の越原小学校が岐阜県一位健康優良学校として決定されました。これは、児童の健康状態はもちろん、学校ぐるみの健康教育の実践等について書

類審査からはじめて、つぶさな現地調査等の厳しい審査の結果、県下数多くの学校の中から晴れの栄冠に輝いたものです。

十月下旬正式決定の後、十一月一日から四日間 東京朝日新聞社で行なわれた中央表彰に、県代表として、高島校長と児童代表が出席、全国健康優良学校としての表彰を受けました。また十二月五日には可児郡御嵩小学校において

県下優良校の表彰が行なわれ、その席上で県一位の表彰を受けました。この快挙は、昭和三十四年に神土小学校が全国一位になって以来のもので、高島校長を中心とした職員、児童、校下の皆さん等の努力のためものといえましょう。

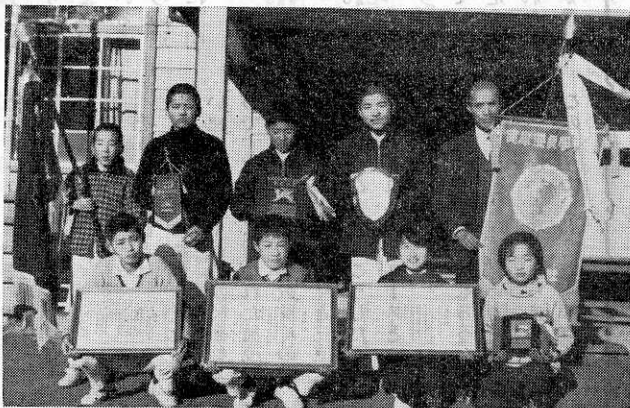
また、そのほかに県教育委員会 県学校歯科医師会 岐阜日々新聞社などの共催による、良い歯のコンクールにも、本村の小学校は、越原、五加小学校が準県一位、神土小学校が優良校という、すばらしい成績をあげ表彰されました。



(ト) (ピ) (ツ) 保育園へ (ク) (ス) サンタのおじさん

クリスマスにはちょっと早い12月23日、よい子がいっぱいいる神土、五加、越原保育園へ、大きな袋をかついだサンタクロースが、そりならぬ自動車に乗って訪れました。これは、小さな子どもたちの夢を少しでも、満たしてやろうと、東白川村助役が、1日サンタクロースとなっておみやげかついで訪問したものです。

「サンタのおじちゃん、ありがとう」力いっぱいのお礼をいって、小さな手をさしだす園児たち。1人1人おみやげを渡す臨時サンタも、この日はばかりは、にこやかなおじいちゃんになりきっているようでした。意味もわからず、ジングベルの音楽とともに、飲み歩く大人どもも、少しはこういつた。夢のあるクリスマスを、家庭に持ちこんだらいかででしょうか。



盲目のおばさん

五加小へ雑布を寄付

さる十二月十八日、五加小学校へ、同校々下柏本の交告田鶴さんから雑布五十枚が届けられました。交告さんは盲目ながら、家庭で留守番をしながらその間に手さぐりで一枚一枚ぬわられたものが、今回五十枚たまったので寄付されたものです。五加が健全でも最近はなかなかそういうことができないのに五加小今井校長も感激、児童に披露するとともに、大切に、より学校をきれいにするため役立たせでもらうと、広報係の方へ知らせてくれました。みなさん、本心に心あた、まる話です。こういう話があらましたらどしどしお寄

文芸

一俳句



神戸阜川 (正樹)

治に著れ

あるわが村や千代の春

初空や

片雲もなき猿屋の嶺

惜しまるゝ

この年月の流れかな

陰々と

寒波来し夜を哭く狐

風神の

からくる雲に雪しぐれ

枯れにける

路傍の草に千姿あり



■おめでとうございます。新しい年とともに、いろいろな期待に胸ふくらませておられることと思います。新年号もそうした期待みたいなものを含ませたいと編集しましたがいかがですか。

■広報の題字を変えました。さきに決まった村章をとり入れ、伸びゆく村にふさわしい、内容にしたいと思ひます。